

## News & Information

---

2016/4/1

### 〔聖マリアンナ医科大学における寄附研究部門設置のお知らせ〕

本日、当社は研究開発拠点として聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター内に寄附研究部門「先端創薬科学（(株)LTTバイオフーマ寄附）研究部門」を設置し、創薬研究、医薬品開発を加速させることとしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 寄附研究部門の概要

##### (1) 経緯

当社は設立時より独自の研究施設を設けず、大学等との共同研究により創薬研究を行って参りましたが、研究開発を一層加速させ知財管理を徹底するには自社ラボ（研究所）設置が必要との判断から、昨年、川崎市がライフサイエンス分野の拠点形成の核施設として整備しておりましたナノ医療イノベーションセンターへの進出を決定し発表しておりました。

しかし、その後も効率的な研究体制構築について種々検討を加えた結果、当社発祥の地である聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターへの設置が好ましいとの方針に変更し、聖マリアンナ医科大学と話し合いを進めて参りました。当社の提案を同大にご理解いただき、新たな教員や研究員の赴任などの準備を進め、本日、同センター内に寄附研究部門が設置され研究開発がスタートしました。

##### (2) 寄附研究部門の内容

名称： 先端創薬科学（(株)LTTバイオフーマ寄附）研究部門

期間： 2016年4月～2019年3月（延長の可能性あり）

研究目的： 聖マリアンナ医科大学に在籍する臨床医、及び基礎研究者が持つ先端的技術や知識と、当社が保有する創薬基盤技術・材料・知識とを融合させ、画期的な新薬を開発し病気で苦しむ世界中の患者さんに届ける。

研究内容：

- ① 当社が永年研究開発を進めてきたPC-SODの臨床へのステージアップ
- ② リポPGE<sub>1</sub>の改良DDS製剤の開発
- ③ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）やドライアイに関するDRによる新薬開発
- ④ 当社の持つDR技術と聖マリアンナ医科大学の研究を融合させた新しい創薬研究の検討及び開始

## 2. 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターの概要

名称： 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター

設立日： 1990年10月1日

所在地： 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

## 3. 当社と聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターの沿革及び関係

当社創設者である故水島裕博士は、聖マリアンナ医科大学教授としてドラッグデリバリーシステム（DDS）の研究を長年行い、画期的な製剤であるリポプロスタグラジンE1の開発に成功し、多くの患者さんの治療に貢献しました。

故水島裕博士はこの知財収入を活かす形で、当社の前身である（株）LTT 研究所を1988年に設立するとともに、聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターの設立に貢献し初代センター長に就任しました。

その後も当社と同センターは共同研究を進め、多くの医薬品の基になる研究成果を創出し、現在も同センターの武永美津子准教授と共同研究を行っております。

## 4. 今後の見通し

速やかに寄附研究部門との共同研究を軌道に乗せ、新しい医薬品シーズの創製に努め、今後、研究成果が生まれましたらお知らせいたします。

以上